

佐須地区の復興計画について

佐須地区 まちづくり構想

復興交付金事業
漁業集落防災機能強化事業
《事業実施 H24～26年度》

復興公営住宅の整備
尾崎白浜・佐須地区：10戸
H24年度着手予定
(旧尾崎小学校跡地・佐須での分離も検討)

これまでの懇談会の開催状況

内容	日程	相手	参加人数
第1回まち懇	5月14日	町内会(尾崎白浜と合同)	
第2回まち懇	6月18日	町内会	19名
第3回まち懇	9月28日	//	18名
第4回まち懇	12月14日	//	15名
第5回まち懇	2月21日	町内会(主として被災者)	13名
まち懇	今回	町内会、地権者	

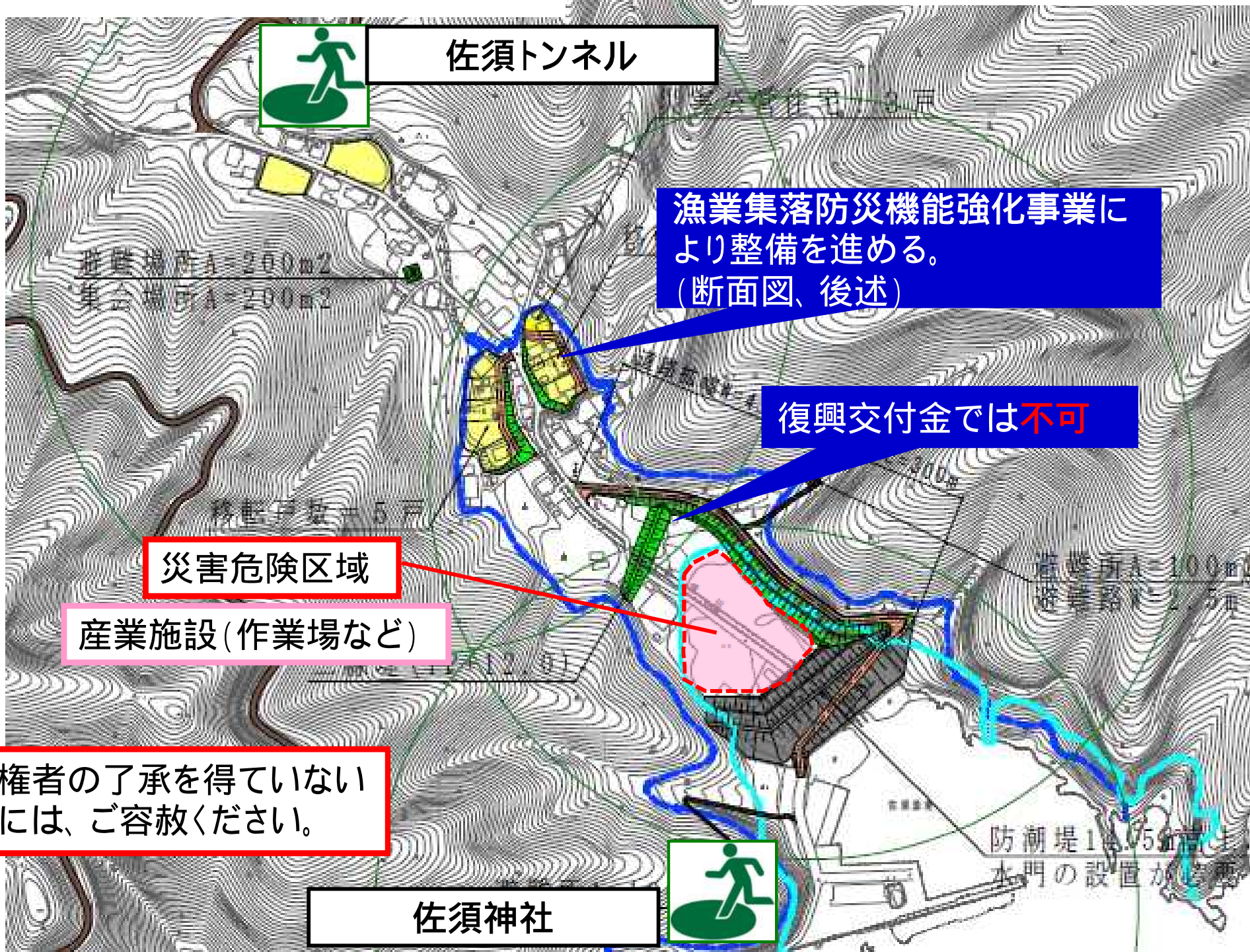
これまでの地域からの意見と対応状況

地域からの意見	対応状況
第2線堤がほしい	防潮堤が14.5mに整備されることで浸水域が縮小するため、復興交付金ではその整備は 不可 ●
移転先が上の方だと、水源地に近いし切土をして土砂災害になっても不安	集落内の平地を活用する ●
避難路は数本上がるルートがほしい	今後、地域と相談して整備します
防潮堤を高くすると安心して逃げなくなる	想定外があることを重ね重ね周知します
加算支援金がもらえるまでに整備が終わるのか	H30. 4.10までが申請期間です。それより早く整備を終わらせます。
建築規制の線を早く決めてほしい	防潮堤が上がった後でも3.11津波で浸水が想定されるところに規制をかけます(配布資料、H24.10予定) ●

● は、後で説明します

復興土地利用計画図(案)

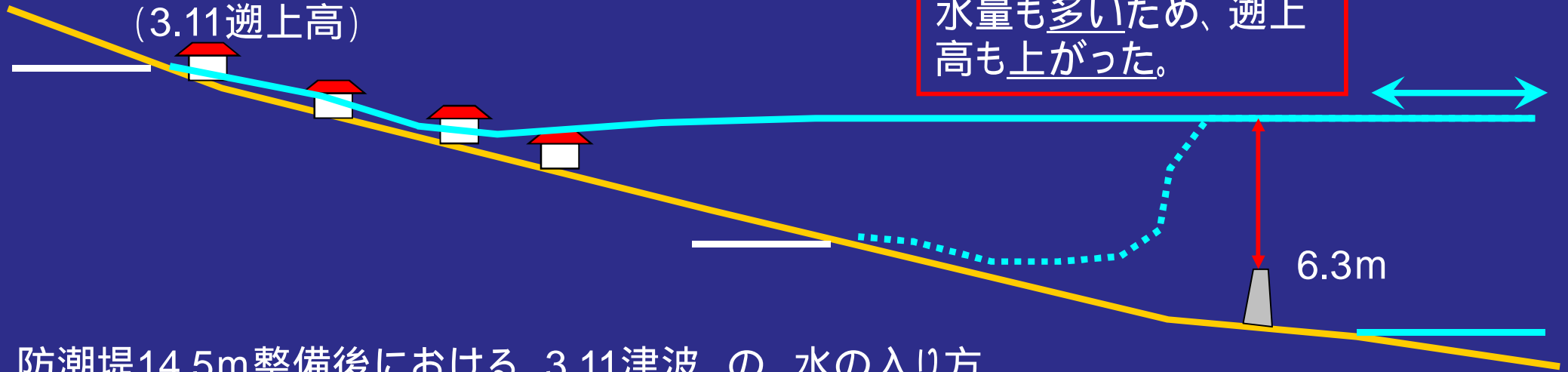
(2月末までに示したものの)



3.11津波 の 水の入り方

海拔約19m

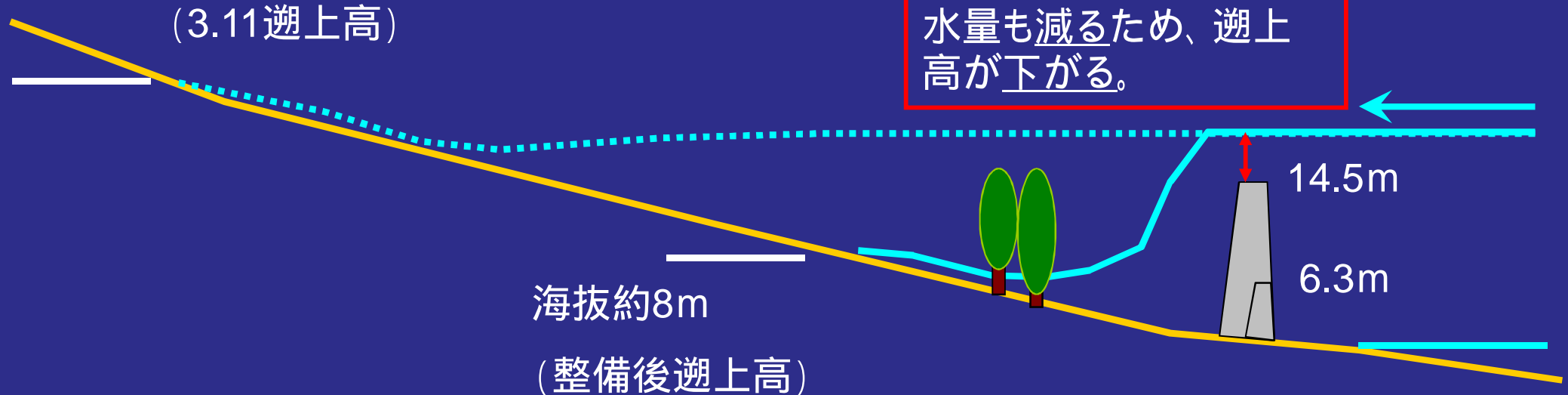
(3.11遡上高)



防潮堤14.5m整備後における 3.11津波 の 水の入り方

海拔約19m

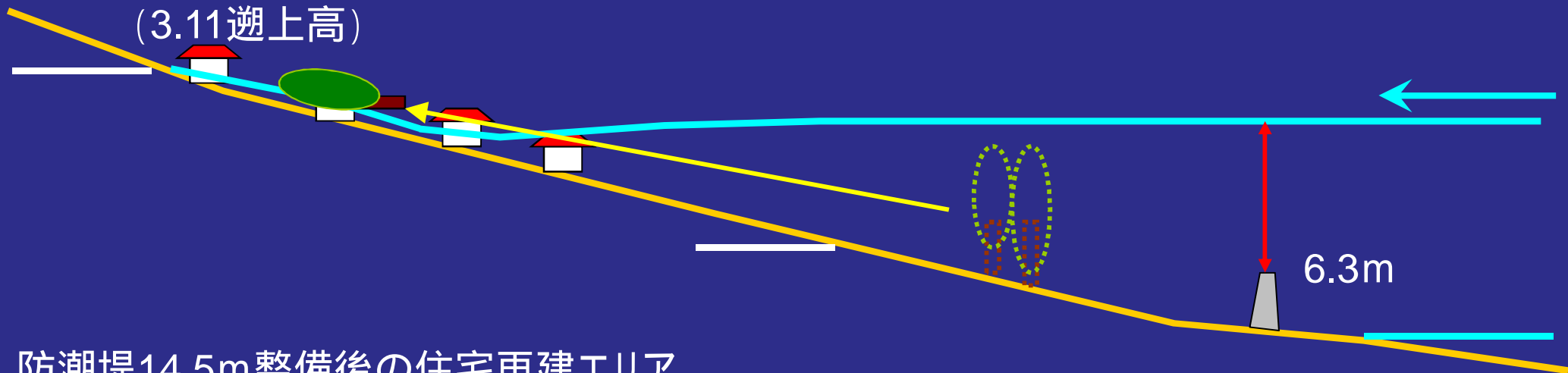
(3.11遡上高)



3.11津波 の 水の入り方

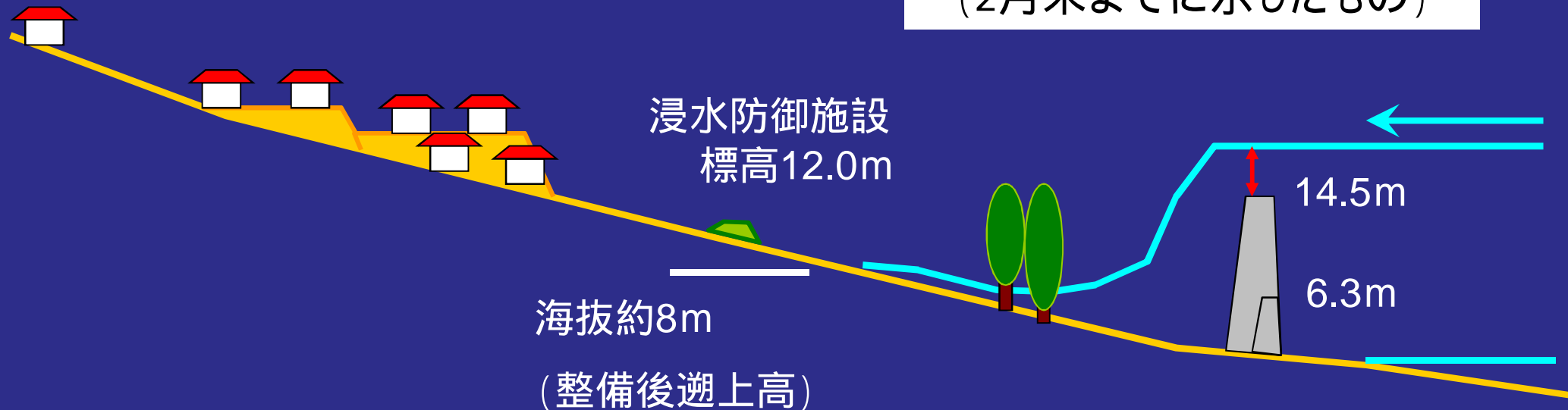
海拔約19m

(3.11遡上高)



防潮堤14.5m整備後の住宅再建エリア

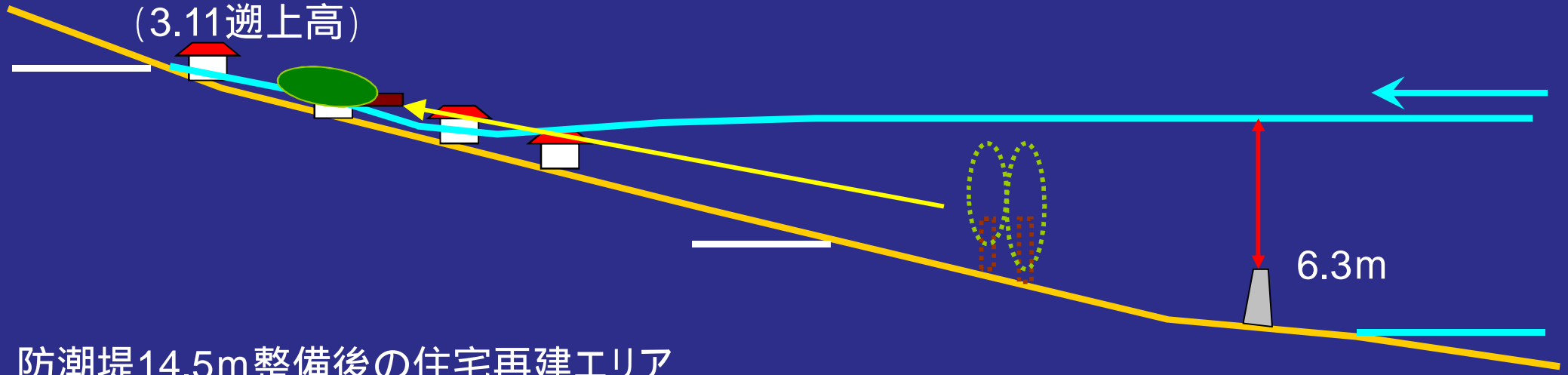
(2月末までに示したもの)



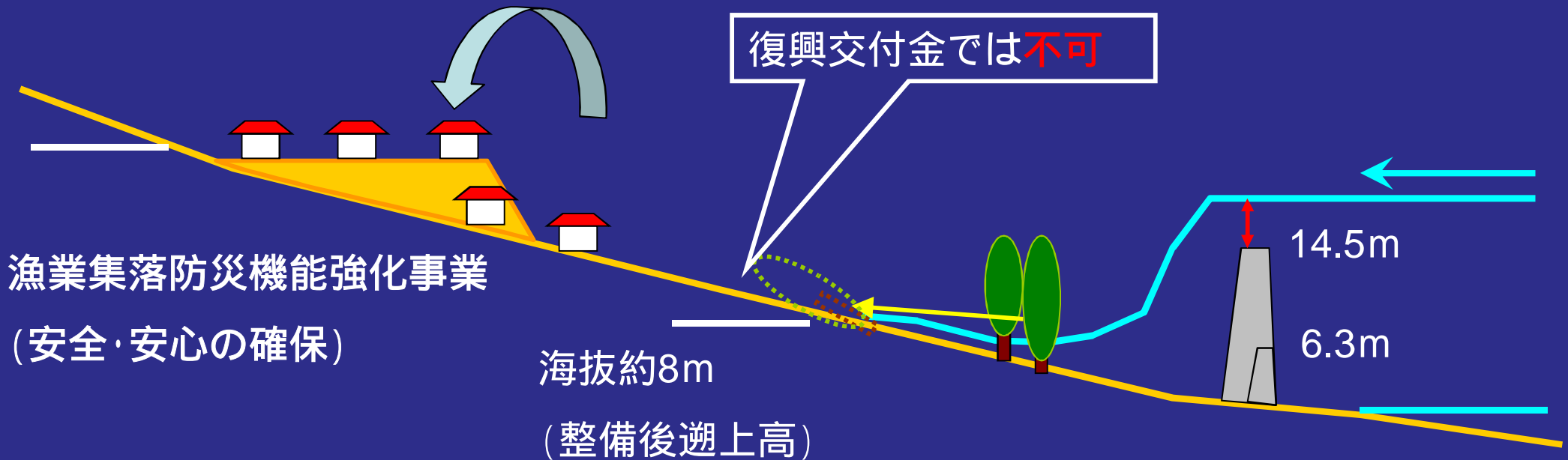
3.11津波の水の入り方

海拔約19m

(3.11遡上高)



防潮堤14.5m整備後の住宅再建エリア



漁業集落防災機能強化事業

(安全・安心の確保)

復興土地利用計画図(案)



佐須トンネル

災害公営住宅：3戸

難場所A=200m²
会場所A=200m²

移転戸数=3戸

漁業集落防災機能強化事業により整備を進める。

(2線堤)
復興交付金では不可

災害危険区域(建築規制)

住居は不可

産業施設(作業場など)は可

地権者の了承を得ていない
事には、ご容赦ください。

佐須神社



避難路W=2.5m

佐須漁港

防
水
岸